



金足地区農業法人等連絡協議会総会

2月28日(火)、金足地区農業法人等連絡協議会の総会が追分生活センターで開かれました。同協議会は大規模基盤整備によって多数の農業法人の設立が進む金足地区の団体間で、課題を共有して解決への連携の可能性を探るものです。昨年7月に設立され、農業経営での問題や必要な支援に関するアンケートなどが実施されました。今年度はより詳しいアンケート調査を行い、課題を明瞭化する予定です。

各団体からは、米や大豆の乾燥調製施設や小作料、農業機械のリース料などの意見も上がりました。

📌 アンケート結果などを確認する出席者



4年産「サキホコレ」実績検討会

2月17日(金)に雄和支店と追分生活センターで、21日(火)に男鹿地区営農センターで、令和4年産「サキホコレ」の実績検討会が開かれ、生産者が参加しました。品質基準が設けられている「サキホコレ」を安定的に生産するため、管内生産者の作業日や生育経過の分布データ、検査結果などを振り返りました。県内外での販売動向や特別栽培米に向けた減農薬・減化学肥料栽培も学びました。

同年度は管内の75名が75・5ヘクタールで「サキホコレ」を栽培し、約361トンが出荷されました。

📌 肥料の使用基準を学ぶ生産者



春作業前の農機展示会

3月6日(月)と7日(火)に雄和農機センターで、9日(木)と10日(金)に追分農機センターで春作物農機展示会が行われ、春作業を控えた多くの生産者が訪れました。

会場内にはスマート農業に対応した田植え機や共同購入トラクター、刈払機などのほか、水稻種子の催芽器や播種機などといった春に使用する機器も並びました。来場者が農機センターの職員やメーカーの担当者に性能などを質問する姿が見られ、職員らは他機種との違いや操作手順などを、実物やパンフレットを使って答えました。

📌 農機具を前に話し合う生産者ら



職員109人が資格などを取得

3月3日(金)、各種資格や試験の合格証などの交付式がJA秋田なまはげ会館で開かれ、役職員が合格した職員の成果を祝いました。職員109人が資格の取得や試験の合格を令和2年度から令和5年2月までに果たし、職員はひとりずつ、佐藤広美組合長から合格証や資格認定証などを受け取りました。

佐藤組合長は「忙しい時間の合間をぬって、自己研鑽に励んでくれた。人の成長が組織の成長に繋がるため、皆さんのこれからの活躍に期待している」と激励しました。

📌 合格証を受け取る職員